



本別高校 総合的な探究の時間「とかち創生学」

○「とかち創生学」の目標

- 1 正解のない課題に挑戦し探究し続ける力の育成
- 2 次世代に十勝を牽引し地域を支える力の育成
- 3 グローバルな視点をもって地域を支える人材の育成

「とかち創生学」の取り組む探究活動の3本柱

- ・地域の特性を活かした特産品の開発
- ・地域が抱える課題に対する解決策の提案
- ・魅力ある地域づくり・街づくりの提案



I 探究活動

- ①課題設定 … 具体的な課題設定「〇〇を△△するには、どうしたらよいだろう？」
- ②現状分析 … 設定した課題をデータから考え、分析(FACTベース)
- ③仮説構築 … ロジカルな解決ストーリー作成「〇〇を△△すれば解決できる。」
- ④解決策検討…「仮説」を解決するための方策の検討、方策のためのデータ収集・実験
- ⑤解決策提案…「解決策」の具体を提案、提案して期待できる成果など



II 評価規準・ルーブリック(個人、グループの一例)

①情報収集について

A:「RESAS」や町の広報や先行事例など調査し、テーマに関連する要素を抽出し情報収集している。
C:データが客観的情報でなく、根拠が明確でない先入観による。

②考えをまとめることについて

A:課題に対する意見をFACTベースで根拠を持ちまとめている。
C:自分の考えまとめられず、他の仲間の考えに頼っている。

III 活動の具体

① 体験活動及び実習

本別町の現状 農業の状況 地域の材料 探究の手法 中間発表



(町役場の講義)



(農家訪問・体験)



(食材の活かし方)



(データの見方)



(探究の気づき)

② グループ活動

A 本別町の魅力発信班 B 本別町の観光PR班
C 特産品開発(カレー)班 D 福祉のまち本別班
E 本別町のイベントを考える班 F 本別町の環境・公園班



支援・連携

- ・各班担当コーチ
- ・本別町企画振興課
- ・町給食センター
- ・JA本別町
- ・町内小中学校
- ・食品加工会社
- ・町内商工会

③ カレー班の活動(カレーができるまで)

内容検討・仮説構築

近隣町内カレー試食

本別町をイメージしたカレーの検討(仮説構築)
「黒いキーマカレー」

夏休み カレーの試食・販売体験

JA本別、町企画振興課、食品加工会社と生徒との「商品開発」会議



商品完成

商品販売